

## 関西電力の高浜原発再稼働に抗議する声明

2016年1月29日

福井から原発を止める裁判の会

関西電力は高浜原発3号機を再起動させました。これに先立ち、福井地裁は昨年12月24日、高浜原発の運転差し止め仮処分を取り消しました。その数日前には、福井県議会および福井県知事が再稼働に同意しました。この段取りの良さはどこからくるのでしょうか。

偶然の一致にしてはあまりにもタイムリー過ぎました。原発を動かしたいとする関西電力の再稼働スケジュールにシンクロするかのよう、運転差し止めを取り消した福井地裁の林潤裁判長、地元同意を出した福井県の西川知事。誰がこれを支持したのでしょうか。福井地裁で仮処分を求めた9人の申立人は支持していません。大津地裁で仮処分を求めた申立人も同様です。わたしたち福井から原発を止める裁判の会一同も、高浜原発の再稼働に同意していません。

関西電力はこのたびの再稼働に合わせ、電力自由化後に電気料金の値下げを発表しました。自由化後の競争に間に合わせた格好になりました。再稼働に必要な対策に費やしたお金があれば、同程度の出力の火力発電所を新設することができるのです。原発再稼働が理由で電気代が安くなるはずはないのです。こうした事態も、福井地裁がもっと慎重に審理していれば、十分に阻止することができました。

福島事故では東日本一帯に除染が必要な地域が生み出されました。都道府県単位で放射能に汚染されるわけではありませんでした。高浜原発も同じです。事故になった際の放射能汚染は、福井県内にとどまるはずがありません。現に滋賀県知事も京都府知事も、高浜原発の再稼働に同意していません。福井地裁は誰の正義に基づいて、運転差し止めの仮処分を取り消したのでしょうか。

わたしたち福井から原発を止める裁判の会は、高浜原発の再稼働を許しません。関西電力はただちに高浜原発の運転を停止するよう求めます。運転再開を認めた福井地裁には、改めて是非を問います。再稼働を支持しない多くの人たちとともに、福井から原発を止めていきます。